

JAバンク鳥取ちよきんぎょカップ 第19回鳥取県少年サッカーU-10大会 大会要項

- 1：主 旨 たくさんの子供たちにサッカーの楽しさを知ってもらい、サッカーを通じて多くの人々と交流を深め、サッカーファミリーとして夢を持ち続け、心豊かな人間となってくれることを目的とした大会である。この目的のため、サポーター、指導者が魅力・模範となるような応援マナー、指導を表現する研修の場とする。
- 2：名 称 第19回鳥取県少年サッカーU-10大会
- 3：主 催 一般財団法人鳥取県サッカー協会
- 4：共 催 JAバンク鳥取、新日本海新聞社
- 5：主 管 一般財団法人鳥取県サッカー協会第4種委員会
- 6：後 援 鳥取県教育委員会
- 7：協 賛 (株)モルテン
- 8：協 力 一般財団法人鳥取県サッカー協会第4種委員会中部地区委員
- 9：日 程 2016年10月1日（土）～10月2日（日）
- 会 場 湯梨浜町東郷運動公園多目的広場、湯梨浜町立東郷小学校

10：参加資格

- (1)「参加チーム」は、開催実施年度に公益財団法人日本サッカー協会（以下「JFA」）第4種に加盟登録したチーム（以下「加盟チーム」）であること。
- (2)上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
- (3)「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する小学校4年生以下の選手であること。
- (4)引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、内1名以上がJFA公認コーチ資格（D級コーチ以上）、公認サッカー審判員資格（4級以上）を有すること。
- (5)「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。

11：参加チームとその数

「参加チーム」は、各地区から選出された全20チームによる。

地区の内訳 東部地区8チーム、中部地区4チーム、西部地区8チーム。

12：大会形式

- (1)グループリーグ：出場20チームを4チームごとの4グループに分けリーグ戦を行う。
- (2)グループリーグにおける順位の決定方法は、勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝点制により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。
 - ① 全試合の得失点差（総得点－総失点）

- ②全試合の総得点
- ③当該チーム同士の対戦成績
- ④抽選 により決定する。

1 3：競技規則 開催実施年度のJFA「8人制サッカー競技規則」による。

1 4：競技会規定

(1) 競技のフィールド：ピッチサイズは原則68m以内×50m以内であること。

(2) ボール：試合球は少年用4号球とする。

(3) 競技者の数

① 競技者の数：8名

※8人に満たない場合は試合を開始しない。試合中に怪我等による人数不足により8人に満たなくなった場合には、そのまま続行する。

② 交代要員の数：8名以内

③ 交代を行うことができる数：制限なし

※交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。

④ 各試合において、登録選手全員に15分以上の出場機会を与えること。

(4) 役員の数：ベンチ入りできる役員の数：3名以内

(5) 交代の手続き：以下

① 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。

② 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。

③ 交代はボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。

注) ただし、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

④ 交代について、主審、補助審判の承認を得る必要はない。

⑤ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。

(6) テクニカルエリア：設置する

※その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。

(7) 競技者の用具：ユニフォーム

a. 大会実施年度のJFA「ユニフォーム規程（平成28年4月1日施行版）」に則る。ただし、施行前の規定を適用することができる。また、色彩の異なるアンダーシャツ、アンダーパンツについては、審判員および運営者と対戦チームの許可を得た上で着用することができる。

b. 選手番号については、事前のエントリー表に試合ごとに選手番号を記入し個人を特定する。

c. ユニフォームへの広告表示についてはJFA「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。

(8) 試合時間

試合時間は30分（前後半各15分）とする。

ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）：原則5分間

(9) 審判員 主審1名と補助審判員1名の計2名にて行う。

(10) その他

- ①審判員および運営者が協議し両チームが了承した上で、暑熱下において前・後半中程に飲水タイムを採用することができる。
- ②負傷者の対応：主審が認めた場合のみ、最大2名の役員がピッチへの入場を許可される。

15：懲罰

- (1) 本大会は、本協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
- (2) 大会規律委員会の委員長は当協会第4種委員長会長とし、委員については委員長が決定する。
- (3) 本大会期間中に警告を2回受けた選手は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (4) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については規律委員会において決定する。競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (5) 本協会諸規程および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

16：大会参加申込

- (1) 1チームあたり 20名以内（帯同審判員を含む役員4名まで、選手8名以上16名以内）をとする。
- (2) 参加チームは、所定の用紙に必要事項を記入の上、各地区の大会担当者へ送付すること。

17：参加料 なし

18：選手証

各チームの登録選手は、原則として本協会発行の選手証（写真を貼付したもの）を持参すること。

19：表彰：以下を行う。

- (1)各グループの優勝チーム：トロフィーおよび表彰状を授与する。
- (2)ベストサッカーファミリー賞：表彰状を授与する。

サッカーにかかわる全ての人たちを大切にする気持ち『リスペクト』の精神を、本大会

を通じて選手、指導者、サポーターが一体となって理解し、「グッドマナー」を表現し「さわやか」な印象を与えたチームを対象としてサッカー協会指導委員会が主導して選出する。なお、選出にあたっては、グリーンカードを提示された回数を参考にする。このため審判には積極的なグリーンカードの提示をお願いする。

(3)キャッチフレーズ賞：表彰状を授与する。

サッカーを楽しむ気持ち、大会に臨む意気込み、目標等を五七五のキャッチフレーズにする。サッカーにかける気持ち等を素直に表現し試合中に体現できたチームを対象として選出し賞を与える。

20：エキシビジョンマッチ 『各チームのリーダー』の選出とその対抗戦を行う。

その技術や姿勢で、正しく、強くチームをリードする選手を、対戦相手チームの監督の投票により選抜する。各チームより得票の多い選手1名を選び（フィールドプレーヤー20名）、ゴールキーパーについては、4名を技術委員会により選出する。選抜した24名を2チームに分けエキシビジョンマッチを行う。

21：交通・宿泊 各チームにて対応すること。

22：傷害保険 チームの責任において傷害保険に加入すること。

23：応急処置

リーグ開催中に疾病・障害が発生した場合、大会側は応急処置のみを行うものとする。

24：その他

(1)会場使用については、会場責任者に説明を受け、マナーを守って使用すること。

(2)本要項で掲載されていない事項や不測の事態が起こった際には、第4種委員会にて協議し決定する。

以上